

【事業名】 「脳卒中発症予測プログラム」 を活用した集団の血圧低下事業

事業の目的

「脳卒中発症予測プログラム」を活用した指導書を参加者に提供することにより、禁煙、減量、早期血圧治療等の行動変容を促し、参加者集団の血圧低下を目指す

成果指標 1

参加者の体重・血圧の測定記録（データ送信含む）の完走率（目標50%以上）

成果指標 2

令和4年11月～令和5年1月までの3ヶ月と、令和5年11月～令和6年1月までの3ヶ月間の血圧数値を比較し、5%未満の有意差をもって低下

主な活動内容 1 (参加者募集)

本事業にかかわる鈴木一夫医師のプロフィール及び写真を「募集案内」に掲載し、被保険者の関心、安心感を高め90名の参加を目指した



鈴木医師は左から2番目（打合せ会議にて）

主な活動内容 2 (脱落防止策としての情報提供)

脱落防止につながる文書と健康リテラシー向上のための冊子を送付し、完走率の向上に努めた



情報提供冊子の表紙（24頁）

主な活動内容 3 (行動変容促進のための指導)

- ①鈴木一夫医師による個別アドバイスシートを作成し、参加者の血圧低下につながる行動変容を促した
- ②アドバイスシートには「医師からのコメント」というタイトルで参加者個々に作成し送付・配布した
- ③参加者個別の血圧値の現状についての説明と、今後何をすべきかを簡潔・明瞭にまとめていただいた

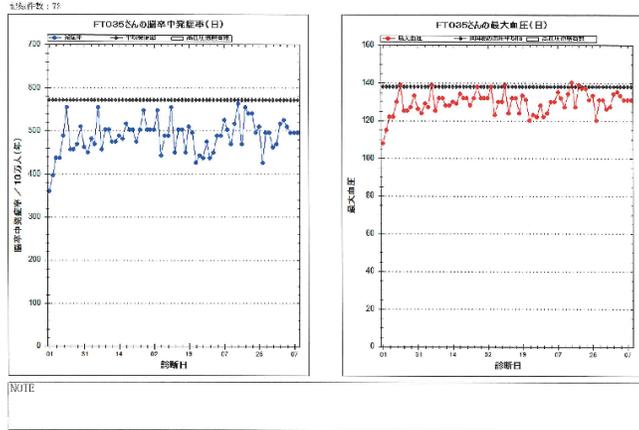
***** 成果等の達成状況 *****

- ①参加状況 ・ 90名の予定に対し108名が参加
- ②完走率 ・ 前半の令和4年度分は108名のうち86名が所定回数の測定を実施し完走率は79.6%
・ 完走者の測定回数は延べ6,000回を上回った
- ③血圧数値 ・ 完走者の最高血圧 (mmHg) の平均値は初回=123.68から最終=123.45と0.23の低下傾向がみられ、経年での成果指標2の達成に期待を持っている

今後（令和5年度）のスケジュール

令和5年4月（済）

脳卒中発症率予測（日単位）



◆本事業の前半である令和4年11月以降参加者が入力したデータをグラフ化し、参加者に提供することにより、さらなる行動変容を促した

◆左のグラフ（青）は、同性・同年齢の脳卒中発症リスクの平均との比較。右のグラフ（赤）は、同性・同年齢の最大血圧値の平均との比較

※上記グラフはサンプルデータ



令和5年7月

「健康情報誌」の提供及び11月から事業（後半）再開の「文書」を送付し、脱落防止策とする（インセンティブ概要の再告知）



令和5年10月

「健康情報誌」の提供及びプログラムの操作方法を再度周知し、11月から事業（後半）再開の準備をして頂く



令和5年11月

3ヶ月間の体重・血圧の測定・記録事業再開。毎月データ送信状況を委託業者（株式会社 社会保険出版社）と連携して確認する



令和6年1月

「健康情報誌」の提供及び最後の行動変容促進のための「文書」を1月上旬までに送付する



令和6年3月

後半3か月のデータを集計・分析し、成果の確認、完走率（成果指標1）の確定及び成績優秀者の確定をする（3月上旬）



令和6年3月

鈴木医師による「成果指標2」の分析、「報告書（案）」の作成をして頂き、健保が確認する（3月下旬）



令和6年5月

当健保で確認した鈴木医師の「報告書」、その他の「実施状況報告書」を厚生労働省へ提出する